

市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報誌

NO. 42

夏号

平成 26 年
(2014)

環境ひらかた



平成26年度通常総会を開催しました



平成 26 年度通常総会を 5 月 31 日サブリ村野 2 階「環境保全研修室」で開催しました。総会は正会員の半数以上の出席により成立するという規定の下、正会員数 130 名のうち出席者 75 名（委任状含む）で、定足数を見たし成立していることを確認し始まりました。

議長に伊丹均氏が就任し「平成 25 年度事業報告及び決算報告案承認の件」「平成 26 年度事業計画案及び予算案承認の件」

「理事選任の件」について審議され、すべての案件が原案通り可決されました。第 1 部の総会終了後、第 2 部では「もっと知ろう！枚方の魅力」をテーマに交流会を開きました。枚方いきもの調査会から「知っていますか？枚方の生き物・植物」、NPO 法人森林ボランティア竹取物語の会からは「里山が里山であるということ」の基調報告があり、その後意見交流をしました。



枚方いきもの調査会

第2部交流会

枚方市内で 157 種もの野鳥を観測できることや、絶滅危惧種の植物が 35 種も生育していること、さらに、枚方東部地域の里山は日本の里百選に選ばれていることなど、知らないことも多く、意外な発見もありました。また里山を保全していくには人の手がいるなどの話もあり、有意義な交流会となりました

NPO 法人
森林ボランティア竹取物語の会

***** 目次 *****

26 年度総会開催	P 1
ひらかた夏の節電コンテスト	P 2
「我が家のエコノート」スタート	P 3
各部会報告	P 4・5
環境トピックス VOL. 8	P 7
新シリーズ「地域の環境人登場」	P 8

第3回ひらかた夏の節電コンテスト!!

6月 7月 8月

この夏も節電・省エネにチャレンジ

節電の極意は継続にあり!

この夏も節電に取り組んで応募してください



今年も昨年に引き続き「ひらかた夏の節電コンテスト」に取り組みます。毎回たくさんの方にご応募いただき、今年で3回目となります。家族そろって楽しく節電や省エネにチャレンジしませんか。削減出来なかったという方も勿論応募できます。「節電に取り組んだ!」という方は応募してください。昨年取り組んだ方から、「家族で話し合いながら楽しく取り組めた」「意識することで自然と節電につながった」などの嬉しい感想がたくさん寄せられました。今年もそんな感想が聞けることを楽しみにしています。

「節電は“ちょっとの意識”から」をモットーに、コンセントを抜くなどのこまめな行動を、継続して実践していきましょう。

* 応募者の中から
抽選で 100 名に
京阪バス 1day チケット
が当たります



コンテストの詳細は別途下記にて設置配布している応募用紙をご覧ください。

設置・配布場所：当法人事務局、市内公共施設等

役員・運営委員紹介

今年の総会は役員改選期でした。新役員が総会で承認されました。任期は平成 26 年 5 月 31 日から平成 28 年度総会までの 2 年間です。異動等により 6 名の役員の方が退任され、新役員 5 名を含む 18 名が役員に就任しました。

■理事■

伊丹 均、市山 二郎、井上 祥子、植田 奈保美、阿 充知彦、上武 康宏（新任）、末岡 妙子、竹島 健次、田邊 弘和（新任）、田中 晃、谷口 興紀、谷崎 利男、谷本 雅洋（新任）、豊高 勝、藤田 伸行（新任）、増本 勝久、丸井 晶子

■監事■

重村 篤也（新任）

[illegible][illegible]

※「我が家のエコノート」は当団体事務局、
枚方市役所受付（本館・別館）、支所、枚方市
環境総務課、枚方市内の図書館、生涯学習市
民センター等に設置配布しています。

枚方で「七夕」といえばライトダウン！と、すっかり定着感のある取り組みとなりました。枚方市では7月7日に施設や家庭でのライトダウンを呼びかけ『電気を消す』ことで、日常生活の中で、いかに照明（＝エネルギー）を使用しているかを実感し、地球温暖化問題について考えるきっかけにしてもらうことを目的に毎年行っています。市内岡東中央公園では、キャンドルディスプレイやキャンドルアートなど、楽しいイベントも行われます。ちょっと、出かけ



写真は昨年の様子



て幻想的なろうそくの灯りの中で、いろいろと考えてみませんか。もちろん、お家で家族や友人とろうそくの灯りを囲んで環境についてお話ししたり考えたりするのも大歓迎です。



セタキャンドルライト 岡東町中央公園周辺にて

■運當委員■

◆第1回理事会終了後に 記念撮影！



部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育サポート部会

くらわんか塾は「環境教育担い手育成講座」として新たにスタート!

皆さんご存知ですか? ひらかた環境ネットワーク会議では3つの環境講座を開講していることを。環境教育サポート部会が担っている“くらわんか塾”はその一つです。

平成17年に、枚方市の進めるS-EMS(枚方市学校版環境マネジメントシステム)の市民審査員養成講座として始まった“くらわんか塾”ですが、市民審査員制度の終了に伴い、S-EMS支援のために学校を訪問し、S-EMSについての説明や、環境の先進的な取り組み事例の紹介、環境教育にかかわる様々な情報提供などを行う「S-EMS支援者の養成」へと形を変えてきました。

そんな“くらわんか塾”が、今年度から「出前授業」の担い手となる人材を育成するための「環境教育担い手養成講座」として新たにスタートします。環境問題は「教育」が重要! そんな思いをお持ちの方や、環境教育活動に関わってみたい、ちょっと興味がある、そんな方のご参加お待ちしております。



まちづくり部会

「花と歴史のロマンウォーク」開催!!



6月7日(土)に環境スター講座の一環で「花と歴史のロマンウォーク・牧野山田池編」を開催しました。牧野駅から山田池公園までの約5.5キロの行程を、ボランティアガイドさんの解説付きで枚方の歴史・文化に触れながらワイワイと楽しく歩きました。途中あいにくの雨に会いながらも片埜神社・防災公園・山田神社等を経て山田池公園に到着。満開の菖蒲を前に、一同の笑顔も満開になりました。参加者の方々からは「枚方にこんな所があるなんて、知らなかった。参加して良かった」「歴史も知ることができ、健康のためにもなり一石二鳥ですね」と大変好評でした。

まちづくり部会は、市民の皆さんに枚方の歴史や文化遺産に触れ、現状を知って頂くことで、まちづくりに関心をもってもらい、誇れるまち並み保存と発展を進めていくことを目指しています。



今回のコースで確認出来たのは「歩いたコース全ての地点でゴミひとつ見かけなかったこと」「歴史遺産、公園、ウォーキングロードの全てにおいて整備が行き届いていたこと」「災害への備えを確認できたこと」の3点でした。

これからも活動を通じて、私たち市民の出来ることを確認していこうと思います。次回は津田～長尾コースを予定しています。皆さんの参加をお待ちしています。

第17回 バス！のってスタンプラリー♪～桜めぐり～



香里園団地桜並木

4月5日、今回で17回を迎えた「バス！のってスタンプラリー」を開催し、過去最高の293人の参加がありました。この企画は、春と秋の年2回開催し、公共交通機関の利用促進や枚方の魅力をもっと知ってもらおうという目的で行っています。春は枚方市内の桜の景観ポイントを廻りました。



満開の見事な桜の中、竹内脩市長の挨拶があり、愛媛大学教授松村暢彦氏による「バスとまちのお話」を聞いてスタートしました。「ひらかた交通タウンマップ」「桜めぐりマップ(桜めぐりのチラシ)」とスタンプシートを手に、どう行けば多くのポイントに行けるのか、しばし作戦会議を開いて出発する人もいました。

一日乗車券を利用して巡るこのイベントを通して、多くの参加者がその便利さを再認識していたようでした。参加者の中には、何度も参加している強者もいて、さくらまつの会場（天野川スタンプポイント）で出会ったグループは、通りがかりにのぞいて行く人に「バスのスタンプラリーよ！年2回やっているわよ！次は秋にやるから、広報をちゃんと見ているといいよ！」と宣伝までしていただき、まさに「バス！のってスタンプラリー」を満喫の様子でした。ゴールの岡東中央公園に帰ってこられた方に、交通アンケートに協力していただきました。全ポイント制覇は15名おられました。



市長のあいさつ



オープニング

岡東中央公園に集まり、説明を聞いてスタート。
マップをひろげポイント制覇の攻略を相談する場面も!!



山田池公園

天野川
(桜まつり会場)
自転車発電



王仁公園



ガラポンをまわして～♪



全ポイント制覇！

◆◆◆◆◆ アンケートの集計から ◆◆◆◆◆

*幅広い年齢層の方が参加しています。

*参加者の多くがリピーターとして参加しています。

今回初めて参加された方が、全体の半数以上。

※次回この方々の中からリピーターとして参加されると期待できます。

*「面白かったですか？」の設問に、全員が面白かったと回答。

そのうちの96%の方が「電車・バスなど公共交通機関に、これからもっと乗ってみたい」とありました。

*“良かった点”として、「行ったことの無い場所に行くことで知らなかった枚方を知ることが出来た。」

「普段はバスを使わないのですが、バスの乗り継ぎがわかった気がする」などの意見もありました。





お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

緑のカーテン ゴーヤオーナー募集します!!

ひらかた環境ネットワーク会議では、この夏も、温暖化対策の一環としての緑のカーテンを体験してもらおうと、ゴーヤの緑のカーテンづくりに取り組んでいます。

そこで、サプリ村野でいっしょにゴーヤを育ててくださる方を募集しています。

1家族1本ゴーヤの苗を育ててみませんか?栽培のノウハウは伝授、収穫したゴーヤとゴーヤレシピの特典付きです。

都合のつく時に来て、水やりなどのお世話してください。

参加希望の方は、事務局まで電話またはメールにてご連絡ください。残りわずかです!



ひらかた自然エネルギー学校 2014

第1回親子で自然エネルギー「ソーラーカー工作とエコクッキング」

日時 平成26年8月24日(日) 13:00~15:00(受付 12:30)

場所 サプリ村野南館2F 情報コーナー/環境保全研修室

内容 ①大人対象 エコクッキング「夏野菜をつかったさっぱりサラダ&簡単ゼリー」

②子ども対象 ソーラーのおもちゃ作り、自転車発電等

受講料 無料 ※ただし②は要材料代1000円

定員 各20名 (先着順受付。定員になり次第締め切ります)

*「ひらかた自然エネルギー学校2014」のチラシもご覧ください

問い合わせ ひらかた環境ネットワーク会議 担当:自然エネルギー部会



環境ミニ講座

ひらかた環境ネットワーク会議では、暮らしの中でちょっとした「エコ」な取り組みの手助けになればと「環境ミニ講座」を開催しています。特別なことではなく簡単にできることを、原則として毎月最終木曜日の午後1時半から3時まで、村野サプリ南館2階「環境情報コーナー」にて開講します。環境ミニ講座に興味のある方はご参加ください。各講座の参加費はいずれも無料で、定員各25名になり次第、締め切らせて頂きます。

夏休み特別企画

廃油ラン

空き缶と植物油を使った非常用ランブ

7月2 (木)

13:30

夏休み特別企画

実験

不思議なシャボン玉、空気砲、紙飛行機

8月2 (木)

13:30

省エネナビ利用

~省エネナビで上手に節電~

9月2 (木)

13:30

省エネナビ無料

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回のテーマは、「新エネルギー政策閣議決定される」「次世代のクリーンエネルギー水素発電所」です。

◆ 新エネルギー政策閣議決定される

2014年4月11日、政府は国のエネルギー政策の基本的な方向性を示す、新たなエネルギー基本計画を閣議決定した。この計画では、再生可能エネルギーの導入は最大限推進していく方針が示されているものの、電力供給に於いて原子力発電を低廉で安定的な「ベースロード電源」と位置付けられており、各電源の構成比は明記されていない。

しかし、二次エネルギーの供給方法の多様化に向けては、水素や蓄電池などの技術の活用について着実に取り組みを進めていくとされている。

又先ごろ家庭部門における電力の自由化に向けて法整備を進めていくことが発表された。

これは、上記の基本計画に盛り込まれている電力システムの改革に関連する事項で、いよいよ本格的に、電力の自由化、発送電分離に向けて動き出したと言える。しかし電力の自由化、発送電分離は、メリットばかりではない。電力の大きな責務である安定供給を誰が担保するのかといった課題も残る。

◆ 次世代のクリーンエネルギー「水素発電所」

水素を燃料電池（水素と酸素を反応させて電気と水を生じる反応を利用した発電装置）に送り込むと、大気中の酸素と化学反応して電気が発生する。二酸化炭素を出さず、効率のいい発電方法として、今、水素発電に注目が高まっている。

しかし、水素は体積がかさばり発火もしやすいため、貯蔵や輸送が難しく、発電で利用するには一定量を常に -253°C 以下という超低温で液化するなどして貯蔵する必要があり、巨額の費用がかかるという課題があった。このほど、液化した水素を常温で貯蔵・輸送し、その後効率的に抽出できる設備が開発された。

水素は製油所や化学工場などで大量に発生するが、現在は多くをそのまま大気中に放出している。また『メタンハイドレート』に含まれる天然ガスからも水素を作ることができる。

このように、安定供給が期待される水素を利用した「水素発電所」が新技術の開発によっていよいよ本格始動する見通しとなった。

地域の環境人 登場!!



ケリ

「天然のダム」と呼ばれているものがありますがご存知ですか？

答えは「田んぼ」です。サブリ村野の2階から白い水面と青々とした早稲の田んぼが広がっています。この田んぼは梅雨時期には大きな水がめの役割を果たしています。また、水生動物が沢山生息しています。「カブトエビ」を子どもと見つけた時は嬉しかったです。「ケリ」という鳥が大きな声で鳴いています。田んぼは夏の盛りには稲が大きく育ち水面が見えなくなります。稲刈りが終わると寂しくなります。この田んぼには季節ごとの風が吹いています。春は薫りの風、夏は汗を吹き飛ばす風、秋は実りの風、冬は気持ちを凜とさせる風が…。

村野本町 山守り人

このコーナーは、まち中のちょっとしたエコ情報を紹介するコーナーです。エコな取り組みで頑張っている人や、環境への関わりや思い、日常の中での関心毎などについての記事をお寄せください。

* 200～400字程度

原稿は紙面の都合で加工させていただく場合もありますのでご了承下さい。

* 写真、イラストもどうぞ

* 掲載の方には記念品を進呈します

あなたは“レレレおじさん”を

見たことありますか？

私が心ひそかに“レレレおじさん”と呼んでいるおじさんがいます。出勤途中見かけるこのおじさんは、毎朝決まった時間、決まった場所で黙々とあることをして下さっています。私と同世代の方なら“レレレおじさん”と言えば…もうおわかりですね。そう！掃除をして下さっているのです。距離にして500メートル程の道の両側を、暑い日も寒い日も、毎日草引きと掃除をして下さっているのです。私たちの周りには、このような方がたくさんおられるのだらうと改めて感謝の気持ちが湧いてきます。このような善意に満ちた社会って素晴らしい！

ちょこっとボラ！ばんざい！です。 (こ)

ひとこと

会報誌の編集に関わらせてもらって、環境ネットワーク会議の事務所に足を運ぶ機会が増えました。それまで、「環境」というと「温暖化」とかどこか他人ごとのようで漠然としたものでした。紙面づくりを通して得る情報はとても身近で常に考えさせられるものです。まだまだ頭でっかちで、行動にまでは結びつかないことも多いですが、知らないときより一歩進んだ感じでしょうか。また、事務所での多くの人との出会いも大きな魅力です。

ペンネーム 紗

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第42号

平成26年7月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：伊丹 均 編集責任者：丸井 晶子